

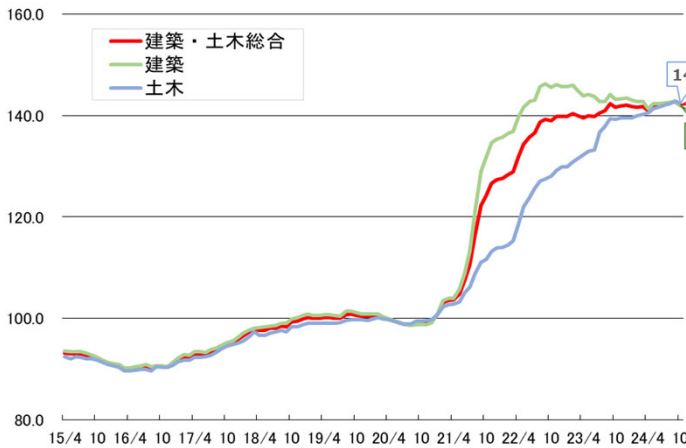
積算資料 建設資材価格指数

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指数は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指数です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指数として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

指数の推移（2024年10月調査）

全国・2020年度平均=100



	当月指数	前月比	前年同月比
建築・土木総合	142.0	-0.8	+0.3
建築	141.9	-0.8	-1.3
土木	142.3	-0.6	+3.1

指数の詳細な計算結果はこちら
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



部門別 主な指数の動き（主要10都市）

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木総合	●コンクリート二次製品：+2.1高松	●瀝青材：-5.0新潟・那覇、-4.8札幌、-4.7仙台・広島、-4.3名古屋、-4.2高松、-4.0福岡、-3.8大阪、-3.1東京 ●普通鋼鋼材：-4.1那覇、-2.9福岡、-2.8東京、-2.6大阪、-2.2広島・高松、-2.1新潟、-2.0仙台、-1.8名古屋、-1.6札幌 ●木材：-0.5東京、-0.4札幌・名古屋・高松、-0.3仙台・新潟・大阪・広島、-0.2福岡
建築	●コンクリート二次製品：+3.4高松	●普通鋼鋼材：-5.0那覇、-3.6福岡、-3.4東京、-3.1高松、-3.0新潟、-2.9仙台、-2.8大阪、-2.6名古屋、-2.4広島、-1.4札幌 ●木材：-0.5東京、-0.4札幌・名古屋・高松、-0.3仙台・新潟・大阪・広島、-0.2福岡
土木	●コンクリート二次製品：+0.4高松	●瀝青材：-13.6那覇、-10.8東京・名古屋・大阪・広島、-10.3福岡、-10.1仙台、-10.0新潟・高松、-9.6札幌 ●普通鋼鋼材：-2.5那覇、-2.4大阪、-1.9広島、-1.8札幌・福岡、-1.5東京、-1.3新潟、-1.1仙台・高松、-0.7名古屋

指数集計対象資材の市況

10月調査に基づく建設資材価格指数は建築・土木総合で142.0となり、前月比マイナス0.8ポイントと6カ月ぶりに前月水準を下回った。また、建築、土木の両指数もそれぞれ前月比マイナスとなった。全ての指数が前月を下回るのは昨年10月調査以来。これは主として、スクラップ価格の3カ月連続下落の影響が波及した異形棒鋼やH形鋼といった鋼材関係の市況下落が、指数のマイナスに寄与したことによる。ただし、鋼材市況の先行きについては、足元のスクラップ価格が反発していることから、大きく崩れることはないものと見られる。また、生コンクリートや再生アスファルト混合物などは、各地区で底堅い動きを示している。そのため、指数を下押しす圧力が一層強まることは考えにくく、先行き、指数は現行水準を維持した推移となりそう。

指数に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 普及推進室 TEL.03-5777-8212